

まるごと北海道＋沖縄で考える多文化共生のイマ

道内5カ所のサテライト会場＋沖縄をオンラインでつないで

1月27日(土) 13:00～北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部およびSHAKE★HOKKAIDO主催の『第3回北海道日本語教育シンポジウム』が開催されます。

主催のSHAKE★HOKKAIDOは、JICA海外協力隊経験者でもある北海道大学の平田未季准教授ら道内の大学教員を中心に、デザイナー、商社、木彫り家らで構成される団体で、地域性・多様性をテーマに日本語教育や様々な共生支援に取り組む人たちが、つながるための活動を行っています。

今回のシンポジウムでは道内に5カ所(北見、釧路、帯広、旭川、函館)のサテライト会場を配置し、自治体、国際交流団体、企業に加え、沖縄の公民館からも登壇者を迎え、様々な現場の「今」について伺います。

詳細をチラシでご確認の上、是非ご取材をご検討ください。

※SHAKE★HOKKAIDOは2023年度「世界の人々のためのJICA基金活用事業」の採択団体で、本プロジェクトはその助成を受けています。

・SHAKE★HOKKAIDO ホームページ

<https://shakehokkaido.studio.site/>

・第3回シンポジウム開催のお知らせ

<https://shakehokkaido.studio.site/Y1xPp5V0/symposium03>

・「世界の人びとのためのJICA基金活用事業—NGO-JICA協働事業:国際協力へのはじめの一步」

<https://www.jica.go.jp/Resource/partner/private/kifu/09.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA北海道(札幌) 市民参加協力課 多文化共生担当 湯本

TEL011-866-8421 e-mail: Yumoto.Reiji@jica.go.jp

以下「第3回北海道日本語教育シンポジウム」チラシ

第3回 北海道地域日本語教育シンポジウム



まるごと北海道
わいわい考える多文化共生のイマ

参加
無料

2024.1.27 SAT 13:00-17:00 定員 200名

本シンポジウムは、
北海道の多様な日本語教育の現場を知り、
支援者の間にゆるやかなつながりを
つくることを目的としています

「超」広域自治体・北海道での多文化共生支援、地域日本語教育の取り組みが各地で動き出しています。行政、国際交流団体、企業から、田地や公民館まで様々な現場の今について伺います。多様な視点から北海道の共生支援を考えてみませんか。

参加者には後日
登壇団体ネームカード&広報物をお届け！（後日郵送）

お申し込みは
コチラ！



申込締切 2024.1.20 SAT



- 開催形態 オンライン配信
 - 札幌 キャリアバンク株式会社
- サテライト会場
 - 北見 北見工業大学
北見工業大学+いるはの会
 - 旭川 フィール旭川 ファミール7階
JICA旭川デスク+旭川日本語の会+旭川市国際交流センター
 - 函館 函館コミュニティプラザGスクエア
JICA函館デスク+北海道国際交流センター（HIF）
 - 帯広 JICA北海道センター（帯広）
 - 釧路 釧路市交流プラザさいわい
JICA釧路デスク
- 主催 北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部
SHAKE★HOKKAIDO
- 共催 北海道総合政策部国際局国際課
JICA北海道
キャリアバンク株式会社
- 協賛 (株)グリーンズ北見、(株)久恵比寿

PRESENT
今年も抽選企画あり!! 参加者には各地の銘菓や

なんと

鮭(切り身)まるごと1本が当たる!!



まるごと北海道 + 沖縄
わいわい考える
多文化共生のイマ

2024
1.27 SAT

PROGRAM

第1部 はじまる! 北海道の共生事業 13:15-

- 道の地域日本語教育推進事業
北海道総合政策部 国際局国際課・課長補佐/樋口一陸氏
- 地域に貢献する外国人材 技能実数生の支援・保護
外国人技能実習機構 札幌事務所・所長/北河 実則氏
- 函館発の国際交流・多文化共生
一般社団法人 北海道国際交流センター 専務理事・事務局長/池田 誠氏
- 私たちからも一言いわせて!
JICA北海道、キャリアバンク株式会社

Q 北海道全体でどんな取り組みが始まっている?
Q 技能実習制度、国際交流の「今」はどうなっている?

第2部 共生の現場から生中継 14:50-

- 社会福祉法人さつき会(鷹栖町)
法人本部・地域密着型サービス事業部 部長/澤上 健介氏
- Unite Works(帯広市)
株式会社スマヒロ v.v.インターナショナルリクルーティングアドバイザー
Unite Works 代表/久保田 一実氏

Q 外国人が働く最前線で見えていることって? どんな日本語支援が必要?

第2部 こんな取り組み、どうですか? 15:05-

- 団地と技能実習生 三者協働の団地交流行事
株式会社URコミュニティ北海道住まいセンター お客様相談課/武田 昌之氏
- 日本語学校横断スポーツフェスティバル
モンテカルロ商事株式会社/松田 麻美氏
- アート×公民館 みんなでつくるひろくコミュニティ
那覇市若狭公民館 館長/宮城 潤氏

Q 業種・組織の枠を超えた横断的取り組みを見てみよう! どんな人たちが連携している?

■ 総括
神宮 宇一先生(武蔵野大学・教授)

■ フィナーレ

- ・サテライト会場リレーあいさつ
- ・抽選当選者発表!
- ・参加者特典の案内
- ・来年度のご連絡

お申し込みはコチラ!



本プロジェクトは、2023年度世界の人のびとのためのJICA 基金活用事業「秋山記念生命科学振興財団ネットワーク形成事業助成金」一助プロジェクトの取組を受けています